あかびら市議会

KA かWA わRA らBAN 版

2014. 1. 1
No.27

お正月の花「松」

花言葉：不老長寿・勇敢

# １２月定例会の主な議題

第4回定例会は、12月10日から13日までの4日間の日程で開催され、水道、下水道条例等の改正や補正予算など議案12件、意見書案6件を原案どおり可決し閉会しました。
また、12日から2日間にわたり6名の議員が次のとおり一般質問を行いました。

**(質問・答弁の内容は、質問順で構成され、簡略化されています。)**

新政クラブ

## 北市 勲

**【質問】安心して暮らせるまちづくりについて**

**①住み替え情報の集約と発信について**

**【答弁】**世帯数の減少とともに空き家が発生し、各地域で中古住宅が増えてきており、住まい選びの選択肢を広げるために、平成26年度から国の財源を活用した地域おこし協力隊の活動の中で中古住宅の賃貸並びに売買を含めた幅広い情報を提供できるよう準備したいと考えている。

**②ドクターカー導入に伴う赤平市の対応について**

**【答弁】**砂川市立病院の地域救急救命センターが重症患者の救命率向上のため、ドクターカーを導入し、中空知5市5町の地域内で12月2日より運用が開始された。運用は平日の午前8時30分から午後5時までで、要請は119番通報を受信したときや救急隊が医師の治療が必要と判断した場合に直接現場又は救急車と合流し、救急救命センターへ搬送する。要請対象となる疾病は心肺蘇生を要する傷病者及び重症循環不全・胸痛患者並びに救急隊が必要と判断した場合となっている。要請に対する費用は救急現場や救急車内で行った医療行為については医療費の一部が患者負担となる。

**【質問】赤平高校閉校後の活用の意思について**

**【答弁】**赤平高校は築35年を過ぎた建物であり、規模も大きく維持費用等を考慮すると活用には慎重にならざるを得ない。現段階では市として明確な利用計画はもっていないが、市教委として高校のグラウンドのみ学校適正配置計画による統合中学校の第2グラウンドとして利用させていただく可能性があると道教委に伝えている。

民主クラブ

## 太田 常美

**【質問】発達障害者への支援について**

**①就学前の子どもや家族に対してどのような支援をしているのか。**

**【答弁】**文京保育所内にある子育て支援センターで子ども支援を実施している。一般的な子育て相談、言葉が遅い・発達に心配がある等の養育相談や午後からは相談に応じ個別支援をしている。12月1日現在で個別支援が15件。専門嘱託職員1名を配置し支援体制を強化しているほか、家族支援のあり方等研鑽のため毎年研修会を開催。また、芦別児童や旭川療育センター等とも連携し、家族に対する適切な支援に努めている。

**②就学後の子ども支援について**

**【答弁】**就学前の子どもの状態を早期に把握するため保健師や保育所・幼稚園などから情報を得るように努めている。特別な支援が必要な場合は保護者の理解のもと専門機関の受診をすすめ、専門医の意見をもらうようにしている。その情報をもとに保健部局・学校関係者等と協議を行い、就学後の対応を検討している。個別指導による特別支援学級の設置や学校の要請により各小学校に特別支援教育支援員を配置するなど順調な学校生活が送れるような支援を行っている。また、中学校を卒業し、高等学校等に進学した場合は、良好な学校生活が送れるよう小中学校指導、個別支援計画などで進学先へ成長過程を説明し、学校生活での指導の一助になるよう連携を図っている。

← 他の質問内容は中表紙に続く。

# 議会の動き

10/22　議会改革検討協議会

11/13　行政常任委員会
- 人事院報告等について
- 中空知定住自立圏構想について
- エルム高原施設の指定管理について

11/13　議会改革検討協議会
11/16　議会報告会（農民協議会との意見交換）
11/22　議会改革検討協議会
11/28　行政常任委員会
- 市立赤平総合病院の経理状況(8・9・10月分)及び病棟建替について
- 現状における財政見通しについて
- 第5次赤平市総合計画後期実施計画について
- カントリーサインについて
- 水道料金及び下水道使用料の消費税率並びに貯水槽水道の検査手数料について

11/28　議会改革検討協議会

★１１月１６日　農民協議会の方々と議会報告会意見交換会を行いました。今回は座談形式を取り入れ多くの方々のご意見をいただくことができました。

12/ 5　議会運営委員会
12/10　議会運営委員会
12/10　第４回定例会　（～13日）
12/11　行政常任委員会
- 赤平市税条例の一部改正について
- 赤平市国民健康保険条例の一部改正について
- 赤平市債権管理条例等の一部改正について
- 赤平市水道条例の一部改正について
- 赤平市下水道条例等の一部改正について
- 赤平市行政財産使用料条例等の一部改正について
- 公の施設の指定管理者の指定について（赤平市保養センター外３施設）

12/18　議会運営委員会・議会改革検討協議会

★１２月１８日　議会運営委員会の様子。さらに市民の声を一般質問に反映させていくために、どのような方法を取り入れていくのかなど、話し合いを行いました。

## 編集後記

**新年明けましておめでとうございます！お正月お元気でお過ごしですか？ご家族、ご親戚やお近づきの方々と新年のあいさつはできましたか？今年は、午年ですね！それと、今年赤平市は60歳を迎える記念の年でもありますね！馬はおだやかな心を持った動物と言われています。この一年間がみなさまにとって、おだやかな明るい一年でありますように。。。また赤平もさらに飛躍する元気な年でありますように。。。ｐｖｑ**

**かわら版編集委員会　植村・五十嵐・向井・竹村**

このかわら版のお問合せは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL 0125-32-1858までお願いいたします。

また、これまでのかわら版は、赤平市議会ホームページでご覧いただけます☆

赤平市議会　検索

民主クラブ

## 向井 義擴

**【質問】農業基盤整備促進事業の要望調査状況と受益希望農家への説明は。**

**【答弁】**事業採択期間が期限なしになり、公共事業へ変更されたことにより北海道開発予算での限られた国費財源で改良事業との役割分担が必要になった。採択要望量調査では22戸、1億4000万円余の事業要望があり、JA、市の体制準備がないと取り組めないので、新たな情報と体制ができ次第、関係農業者に連絡していきたい。

**【質問】行政による企業支援について**

**①インターネット等による求人情報の拡大について。**

**【答弁】**ハローワークを通しても必要な人材が集まらないとも聞いている。市のバナー広告の利用等で可能であると思うが、ホームページを通しての求人募集は、今後産企協などと協議しながら検討したい。

**②人材確保のために単身者用住宅が必要ではないか。**

**【答弁】**本市は公的住宅の割合が多く、民間賃貸住宅が少ないため、単身者住宅の確保が難しい状況である。総合計画後期実施計画においては民間賃貸住宅の建設促進等に向け、様々な助成・支援を実施予定である。市外通勤者で市内企業従事者のアンケート調査の結果を踏まえ、制度内容の検討を加えたいと考えている。

**【質問】エルム高原 について**

**①保養センターの改修について**

**【答弁】**市立病院病棟建替えや消防庁舎の建設等、大規模事業が終わった後の平成29年度にリニューアルを予定している。

**②彫刻群を活用したPRについて**

**【答弁】**平成26年度に全部で10体の彫刻群になるので、彫刻公園サキヤマのパンフレット作成、赤平観光協会ホームページでの紹介、国道沿い案内看板の表示、彫刻群を活用した撮影会や写生会など、多くの市民に見に来ていただけるよう事業を展開していく。

公明党

## 五十嵐美知

**【質問】発達障がい児対策について**

**①特別な支援が必要な子どもたちを小さいうちに発見し、相談対応して、支援して行くには専門知識が求められるだけではなく、責任も課せられてくる事から、子育て支援センターの相談体制については、文京保育所・所長としていて、現状は嘱託職員1名、補助1名の体制で対応しているが、センター長は専任して複数体制で対応するしかと思うが考えを伺う。**

**【答弁】**近年、子どもの数は減少しているものの発達障がい等に関する要支援の率は上昇しており、更なる体制強化を検討しセンター長を専任にして複数体制で相談対応を検討していく。

**【質問】5歳児健康相談の取り組みについて、多種多彩な才能を秘めている可能性のある、「発達障がい」は、幼小期に始まることが多く、早期に発見し、健やかな成長と発達を促すために、総合的な健康相談の取り組みが急務であると思うが考えを伺う。**

**【答弁】**5歳児健康相談の取り組みについては、全ての子どもと発達の支援と言う点で、5歳児健康相談や検診において一つでもありと言う自治体が出始めており、検討課題としている項目のところを参考に、今後、関係部署と連携し検討する。

**【質問】子どもの発達に対する総合的な窓口が必要と思うが考えを伺う。**

**【答弁】**発達障がいを含め、成長に関する相談の場については、保護者によっては希望される相談先も変わってきますが、総合的には自由に相談できる子育て支援センターが中心になるべきと考えている。市民周知にも力を入れていきたい。

**【質問】通常の学級にいて、ことば等の不安のある児童に対し、通級学級が望ましいと思うが設置の考えを伺う。**

**【答弁】**あくまでも普通学級に在籍している児童が対象となっており、対象者の状況を子育て支援センターとも情報を共有しながら、可能性を検討していく。

新政クラブ

## 植村 真美

**【質問】特産品づくりの応援体制の強化について**

**①農業者との意見交換の場と民間企業との連携も図っていくことが必要でないか。**

**【答弁】**当市の農産物を代表する米の普及を図りながら特産品をどう作っていけばいいのか、まずはJA滝川や農業者と考えていく。

**②市民還元品の導入の検討について市が特産品と定める商品に一定期間助成をし、市民が購入しやすい商品づくりの検討を。**

**【答弁】**還元品の導入を考える以前に、特産品をどう作るか挑戦していきたいと考えている。

**【質問】ゴミの減量意識の強化について**

**①エコポイントの導入についてゴミの軽減世帯や古紙等資源ごみ回収などでポイントが付く制度を作れないか。**

**【答弁】**回収量に応じた、また、小型家電の拠点回収についても参加者還元が可能かどうか検討を行っていく。市民が意欲的に減量化に取り組めるような方策について検討し、実現可能なものから順次取り組みを行う。

**【質問】民間活力を高めるための共同事業の考え方について**

**①商工観光振興分野についてエルム高原や市内にさらに集客を高めるため、指定管理側・行政、民間団体、アドバイザーを含めた協議会の検討を。**

**【答弁】**目的意識を持った協議会の結成も有効だと考えているが今は指定管理者の運営状況を見守っていきたい。意欲的な民間団体があれば紹介してほしい。

**【質問】教育環境の充実について**

**①学習意欲を高めるキャリア教育の検討について 民間企業や市民団体とまちづくりのあり方とともにキャリア教育を考えることが大切であると思うが。**

**【答弁】**中学校においてはその分野の頑張っている人材との交流を図っている事例もある。子ども達の将来に有意義な事業ですので学校とも協議の上情報提供していく。

新政クラブ

## 菊島 好孝

**【質問】赤平工業団地の企業案内表示板について**

**①現在19社の企業が掲載されているが、約半分の9社が廃業又は撤退している企業である。表示板を譲渡されてから25年経過しているがいつまで放置しておくのか。**

**【答弁】**鉄骨部分が腐食していることから、修繕にあわせて企業名の整理をしていきたい。

**【質問】職員の圏外研修について**

**①当市が国に準じた政策を事業として取り入れる場合など、職員を積極的に圏外研修、視察等に参加させるべきだと考えるが、今後計画的に予算を組んで派遣してはどうか。**

**【答弁】**来年度の研修計画に反映していくなど、実施できるよう努めて参りたい。

**【質問】不審火の対策について**

**①茂尻新町・栄町と茂尻市街を結ぶ人道橋である跨線橋が3年間に3回不審火による火災が発生して、地域住民の不安が今だ解消されていない。安全、安心のための防犯カメラを設置できないか。**

**【答弁】**防犯カメラの設置に向けて検討を進めているところである。

**【質問】茂尻小学校の周辺整備について**

**①統合茂尻小学校のグラウンドにおりる坂道が狭くて急であるため、児童達が通行するにあたって非常に危険であることから、どのような対応を考えているのか。また、二宮金次郎の像の移設はできないものか。**

**【答弁】**平成27年度にグラウンド整備と併せて工事を計画しています。二宮金次郎の像の移設も併せて検討したい。

### 今定例会の意見書可決は下記の6件です

①地方財政の確立に関する意見書
②過疎対策の積極的推進を求める意見書
③介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書
④積雪寒冷地域対策の推進を求める意見書
⑤ＴＰＰ協定交渉への参加に関する意見書
⑥平成２６年度畜産物価格決定等に関する要望意見書

## 広島原水禁平和記念式典に参加

派遣議員 竹村恵一
実施時期　平成25年8月5日～7日まで

・広島県で開催された原水禁平和記念式典に派遣で参加。
・原爆ドーム、慰霊碑、石像、平和資料館等を見学。
・9月17日赤平市内での原水禁広島大会派遣生徒報告会で報告を行う。

派遣報告

## 議員派遣視察研修報告

派遣議員　向井義擴、菊島好孝、竹村恵一
実施時期　平成25年10月8日～11日まで
視 察 先　佐賀県伊万里市、武雄市、長崎県佐世保市

伊万里市は総務省が推進する定住自立圏構想に早い段階で取り組み、中心市宣言後、隣接する有田町と定住自立圏形成協定締結。互いの将来構想による役割分担など、行政コストの縮減、住民サービスの向上に効果があるとされている。中空知においても今後、滝川市、砂川市が中心市宣言をするとみられ、複眼型中心市となった場合、赤平市がどのような役割分担や共同事業などにより住民サービスの向上が図られるか協議が必要になってくると思われる。

武雄市は図書館や病院の視察、佐世保市では全国過疎問題シンポジウムに参加し、過疎特有の諸問題を乗り越えられるポイントは発想力と人材育成が重要とのことであった。また、地域おこし協力隊についての講演もあり、今後、赤平市でも協力隊員が決定され、隊員の活動に期待したい。

↑伊万里市役所にて

武雄図書館にて→

←佐世保市全国過疎問題シンポジウムにて